

横浜市会 議会のあり方調査会報告（第7回）

本調査会は、市会運営委員会の諮問事項である「インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方」のうち、平成17年第4回定例会における本会議のテレビ放映の対応についてまとめたので報告する。

《インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方（その1）》

1 検討の経過

本調査会は、「インターネット中継実施に向けての計画化とこれに伴う議会運営のあり方」について諮問を受け、平成17年9月13日に市会運営委員会あて、最終報告（第6回報告）を行った。

その報告の中では、『定例会中継などのテレビ放映については、より一層多くの市民に視聴され、効果的な放映となることが望まれること、インターネット中継実施に伴う本会議における質問人数の増加によって、現行の各会派の割り当て時間では議員1人当たりの放映時間が短くなることがあり、審議状況をより分かりやすく放映する観点から検討を要する場合があること』を指摘した。

その後、団長会議及び市会運営委員会の協議の結果、改めて「インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方」について諮問を受けることとなった。

当該諮問を受け、本調査会では、

- (1) より一層多くの市民に視聴される効果的な放映
- (2) 審議状況がより分かりやすい放映
- (3) 本会議のテレビ放映とインターネット中継のすみわけ

の3つの視点から、本会議のテレビ放映の見直しを検討しているところである。

現在のテレビ放映については、一般質問のみを対象として、質問と答弁を中心とする内容の60分番組として構成していることや、「議会だより」やインターネット中継等と内容が重複していることなどによって、さきの3つの視点から見ると課題があり、今後は、視聴者にとって議会の審議状況等をより分かりやすく、効果的に伝えられる番組とするよう、抜本的かつ総合的に調査・検討を進めることで認識が一致した。

一方、平成17年第4回定例会から本会議における質問者が最大17人になることに伴い、質問者全員を紹介し、その様子を分かりやすく放映するためには、現行の放映時間の範囲内で必要な時間をどのように確保するかについて見直しを図ることは避けられない課題である。

そこで、本調査会は、平成17年第4回定例会に向けて、必要不可欠な当面の本会議のテレビ放映の時間構成について、早急に検討を行うこととした。

2 検討の結果

- (1) 平成17年第4回定例会の「市会中継」については、質問者全員を紹介し、その様子を分かりやすく放映できるよう、発言上限者数17人に合わせた放映時間の構成とする。
- (2) 放映時間の配分については、これまでの各会派の質問に係る放映時間を確保できるよう配慮する。
- (3) 当該番組は議会広報であるという観点から、これまでの質問と答弁の放映時間の構成を見直す。

とのことで意見の一致を見た。

なお、本調査会は、平成17年第4回定例会における本会議のテレビ放映の対応は当面のものであることから、今後さらに、視聴者にとって議会の審議状況等をより分かりやすく、効果的に伝えられる本会議のテレビ放映について引き続き検討を進める。

平成17年12月 6日

横浜市会 議会のあり方調査会

座 長 藤代 耕一 (自民党)
副座長 森 敏明 (民主党)
" 仁田 昌寿 (公明党)
委 員 横山 正人 (自民党)
" 古川 直季 (自民党)
" 高梨 晃嘉 (民主党)
" 加藤 広人 (公明党)
" 杉山 典子 (ネット)
" 中島 文雄 (共産党)
" 若林 智子 (無所ク)